

ふれあい子育てサポート事業 取材結果
（なかはら子ネット通信第75号追加情報）

サポート利用の調整を行う「ふれあい子育てサポートセンターTACK」と、子育てヘルパー会員さんに、子ネット通信編集委員が書面で取材をしました。スペースの都合で本紙に掲載しきれなかった回答内容をご紹介します。

事務局：中原区役所地域ケア推進担当

1. ヘルパー会員をされている方はどのような方が多いのですか？

子どもが好きで地域に貢献したいと考えている方・自分のお子様がある程度大きくなられている方・時間的に余裕がある方が多いです。年齢層でいえば40代後半から70代くらいまでの方が中心となっています。（サポートセンターTACK）

2. どんなところで預かっていただけるのですか？おもちゃなどはあるのですか？

複数のヘルパー会員さんからの回答をご紹介します

○畳の部屋で年齢に合わせてボール転がしやアンパンマンのお人形などで遊んでいます。利用会員さんやお子さんの要望に合わせて公園に行ったり、こども文化センターに行ったりします。利用会員さんのお宅に伺って一緒に留守番することもあります。

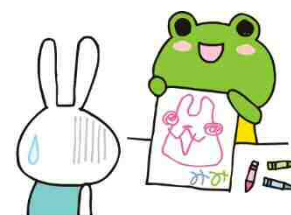
○お預かりのお子さん2人を保育園、学童保育に18時30分に迎えに行きます。親御さんのお迎えまでの1時間半から2時間の間、食事もあるので居間で遊びます。トランプ・ボードゲーム・宝探しなどあまり動きまわる遊びではありませんが、段階的にだんだん出来るようになっていくのを一緒に喜んで、私も楽しく遊んでもらっています。

○自宅預かりはリビングが中心です。80cmくらいの高さのテーブルがありますが、初めてのお子さんの時にはタオルを巻いたりします。1対1でお子さんからは目を離しませんので、動き始める頃にはテーブルと子どもの間に私が入るようにします。

○おもちゃは利用者さんが使わなくなった電車・ブロック・絵本などを持って来てくれます。

○空き箱などを集めておくと男の子はロボットを作ったり、女の子は部屋の仕切りにしておままごとをしたりします。

○小学生になるとオセロ・ダイヤモンドゲームなどで真剣に戦います。



3. どのようなきっかけでヘルパー会員になったのですか？

複数のヘルパー会員さんからの回答をご紹介します

○子どもが大好き。もともと学童保育で22年間、わくわくプラザで7年間と子どもに携わってきました。子どもに関われる仕事に出会えて楽しく過ごさせていただいています。

○50歳で中原区に住み、社会人の子どもと夫との生活。毎日自分の時間ばかりでした。55歳になった時、「何かをするのなら、今始めないとこれからの人生つまらないだろう…何かを見つけたい」と思いました。そんな時市政だよりにヘルパー会員募集の記事を見つけ、子どもが大好きなので、すぐに研修を受けました。

○自分の子がまだ一人っ子なので自分より小さな子とふれあう機会があればと思ったので。小さいお子さんが好きなので関われるような事がしたいと思い始めました。

4. ヘルパー会員さんのやりがいってどんなことですか？

複数のヘルパー会員さんからの回答をご紹介します



○保育園のお迎えで嬉しそうに飛びついてきてくれた時

○子どもが学校から走って帰ってきてくれた時

○食事を提供していますが残さず食べてくれた時や、苦手なものも食べられるようになった時

○言葉では上手く表現できない子どもの表情や態度が理解できた時

○お子さんがとてもよく懐いて下さり、サポートでお会いするととても喜んでくださる時。「またお願いします」と言ってもらい、また来ていただけた時

○子どもの成長をご両親と一緒に見られること

○小さい頃にお預かりをしていた子が高校生になっても覚えていてくれて、声を掛けてくれたり、挨拶をしてくれる時

○保育園にお迎えに行くと私の顔を見て笑顔で走って来てくれたり、保育士さんから『今日は〇〇さんのお迎えなんだ』と朝から言ってましたよ』と聞いた時

○私を待っていてくれる子がいると思った時

○親御さんから心からの感謝の気持ちが伝わった時

5. 子どもを預かるにあたって気を付けていることはどんなことですか？

複数のヘルパー会員さんからの回答をご紹介します。

○ケガには充分気をつけてお預かりしています。

- お子さんにケガをさせないで、お迎えの親御さんにお返しすることです。
- 目を離さないことです。お子さんが来る前までに、トイレ・家事を済ませお預かりするための時間にします。
- 子どもを好きになれば親を好きになる。親を好きになれば子どもも好きになる。
- 小さいものが落ちていないようにすること、危ない物を片付けることです。
- どんな小さな子でも「あー」とか「うー」とかでも会話をすること。話しかけてよくお話を聞く。
- 食べ物は小さめにしてから食べさせる。

6. 1歳の子どもの人見知り激しいので心配ですが、預かっていただけますか？

慣れてくるまでは短時間でのお預かりを何回かしてもらおうと思います。ヘルパー会員の顔を覚えてもらい、預かる家にも慣れていってもらいます。何回か会っているうちに人見知りだった子もヘルパー会員に懐いてくれると思います。

（サポートセンターTACK）

7. 実際にどんなケースで利用される方が多いのですか？

利用されるお子さまの年齢で多いのは、就学前の2～5才くらいです。週1回2～3時間程度で、不規則の利用の方が多いです。

活用方法としては、次のようなものが中心となっています。

- ・両親が残業などで保育園・幼稚園のお迎えに行けない時
- ・2人目以降出産のための通院や、出産後の上のお子さんの保育園の送迎やその後のお預かり
- ・習い事の送迎（小学校低学年の利用が多いです）
- ・保護者のリフレッシュ
- ・実家が遠方で近くに知り合いがいない方のご利用

（サポートセンターTACK）

8. 利用会員は、サポートセンターに問い合わせしてすぐに利用できるのですか？

サポートセンターは、育児の援助を受けたい人（利用会員）と育児の援助を行いたい人（子育てヘルパー会員）との相互援助活動を支援する組織です。ただし、子育てヘルパー会員の登録状況によりますので、援助内容・時間帯・地域によっては、ご紹介できないことがあります。

ヘルパー会員さんはご自身のお仕事・家事・育児中の空いている時間・曜日で登録されています。お仕事ではなく有償のボランティアですので、ヘルパー会員とご都合が合わないとは利用できません。

お問い合わせの電話で具体的な依頼内容や日時などを詳しく伺います。その他お子さまの年齢やアレルギーの有無なども詳しく確認します。その後、センターに登録しているヘルパー会員の中から対応できそうな方を確認して、ヘルパー会員が見つければ、入会手続きとなります。入会時に年会費（1,200 円）をお支払いいただいた後、ヘルパー会員と事前打合せとなります。

ヘルパー会員をお探しするのに1週間ほどお時間をいただいております。入会・事前打合せまですべて終了するまでに、2週間ほどお時間がかかる場合もあります。サポート成立後はタックを通さず直接ヘルパー会員と連絡を取り、サポート依頼をしていただきます。

※急なサポート依頼は、ヘルパー会員からお断りされる場合もあります。

※予約はヘルパー会員との話合いで決めていただくので、なるべく予定がわかり次第ヘルパー会員にご連絡をお願いします。

（サポートセンターTACK）

9 利用会員の登録の際には、サポートセンターへの訪問は必要なのですか？

依頼内容がある程度具体的に決まっていれば、電話で受け付けます。サポートしてくれるヘルパー会員が見つかったら入会申込書の記入と、年会費の支払いのため、サポートセンターTACKに来ていただいております。

（サポートセンターTACK）

以上

